

単元名:そのとき歴史は動いた？					
科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	地域社会と世界	言語レベル	4	必要時間数	8時間
I 単元目標					
日韓の歴史教科書に記載されている内容で、両国で食い違っている点を調べ、その原因や背景について考察し、これからの望ましい日韓関係について話し合い、解決の方法を共に考えることができる。					
			言語	文化	グローバル社会
			学習者	教室外	他教科
			わかる	できる	つながる
言語領域			文化領域		グローバル社会領域
◆日本に関する韓国の教科書の記述を読んだり、ニュースをみたりして、どのような点が問題になっているのか、概要を理解できる。 ◆日韓の教科書で共通している点、食い違っている点について抜き出し、それについて話し合うことができる。また、その原因について、資料を読んで調べることができる。 ◆留学生や日本人同士で、メールなどを通じて、お互いの意見を論理的にやりとりすることができる。 ◆両国の歴史認識の相違点について、自分なりの意見を発表することができる。また、話し合いの内容をふまえて、自分の意見をレポートにまとめることができる。 ◆日韓関係がよりよい方向に進むために双方で改善すべき点、配慮すべき点について意見を表明することができる。 ◆クラスで話し合った内容や自分の意見をまとめ、日本や海外の新聞・雑誌などに投稿することができる。			◆歴史にたいする考え方は、国や民族・個人によってとらえ方が異なることを理解できる ◆国際認識は、国や地域の歴史や地理的・経済・政治的環境などによって大きく影響されていることを理解できる ◆日韓両国で、歴史や文化が一般人の歴史認識にどのように影響しているかを分析、比較し、共通点・相違点を指摘できる。 ◆日韓双方の認識の差を埋めたり理解しあえるための方策を、双方の立場から留学生やその友人、また、自分のクラスメートに提案できる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。		◆国際社会の認識と日本での報道や教育のずれがあることを理解する。双方の主張の根拠を調べ、認識差の原因を理解することができる。(知識理解) ◆世界の他の地域にも似たような歴史があることを知り、日本の場合と比較しながら、他地域のケースを理解することができる。(知識理解) ◆絵、写真、グラフなどを使いながら主張の根拠をきちんと提示し、留学生やクラスの友達に自分の考え方を理解してもらうことができる。(情報活用) ◆英語やドイツ語など、韓国語以外の外国語に翻訳して発信するために、周囲を動員して、このような能力をもつ人に接近・助けを借りることができる。(協働) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。
コミュニケーション能力指標			【地域社会と世界】 4-b. 国際問題についてのテレビのニュースや新聞報道の内容を理解できる。 4-d. 日本と相手の国の関係(文化、歴史、政治、経済など)について調べ、自分なりの意見をレポートにまとめることができる。 4-e. 国際社会で生きていくために何が必要かについて、意見交換できる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。		

Ⅲ 学習活動と評価	
ブレコミュニカティブ活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
◆韓国で使用されている歴史教科書の中から日本について書かれている箇所を拾いだし、日韓で起こった人物や戦争、事件を韓国語でなんというのか、どのように翻訳されているのか、語彙や用語・表現を確認する。【4-b】 ◆韓国の歴史教科書の中で、植民地時代の部分を読みながら、年表をつくってみる。【4-b】 ◆両国に書かれた歴史の中から、共通点、相違点は何かを話し合ってみる。【4-d】 ◆聞いたことのない事柄や習ったことのないものについては、インターネットなどから資料を探して調べる。なぜ日本の教科書には書かれていないのかも推測する。【4-d】 ◆日韓で相違っている点を1つ選び、他の国では、それらの事柄についてどのように説明されているのかを、翻訳されている資料等を使って調べる。【4-b】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	◆両国の教科書にあってないものの部分を探して調べて箇条書きにする。（情報の量、正確さ、媒体、視点、バリエーション、深さなど） ◆調べた結果を踏まえて口頭発表をする。（記述の内容、要因分析、自分の意見など）
コミュニケーション活動（学習シナリオ）	
<場面状況> 韓国語のクラスでは、日本にいる韓国からの留学生と、これからの望ましい日韓関係について話し合うことになった。 <活動の流れ> 韓国で使用されている教科書から、日韓でおこった歴史的イベントについて、日本の教科書にのっていないイベントはどんなでごとであったか、留学生からさぐく。留学生には、そのイベントの概要を直接授業にきて話してもらるか、直接会うのが難しい場合には、そのイベントをどう習ったか（認識しているか）、どうして日本では知られていないと思うか、などをメールなどで書いてもらう。 日本の教科書で食い違っている部分（日本の教科書にあって韓国の教科書にない部分とその反対）を探し出し、調べる。留学生には、そのイベントについて知っているかどうか、知っているとしたらどうやって知ったのか、どうして韓国では知られていないと思うか、などを書いてもらう。その意見をふまえ、日韓でなぜ食い違うのか、原因についてみんなで話し合ってみる。 他の国の教科書では、周辺の国はどのように記述されているのかを日本語に翻訳された資料や、報道された資料などを使って調べ、口頭で発表する。両国がより望ましい関係を築いていくためにお互いが改善すべき点を、他の国の例を参考にしながら考えたことを発表し、話し合う。留学生に直接きてもらうのが難しい場合は、インターネットやメールを通じて意見を交換し合う。 話し合った結果をふまえながら、自分なりの意見をまとめてレポートに書く。留学生からの意見もあつめてまとめ、みんなで閲覧する。より多くの人に考えてもらうために、話し合った内容や感じたことを雑誌や新聞に投稿する。発展学習として、世界でも似たような関係にある地域がないか、問題意識を持って各自調べる。	
<目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）> ◆調べたことや分析したことを踏まえ、韓国からの留学生と話し合う。（参加態度、相手への配慮、意見正当性、論理の組み立て方、説得力、言葉の流暢さなど） ◆話し合った結果をふまえながら、自分なりの意見をまとめてレポートに書く。（内容、理解度、内省、視野の広がり、考察の深さなど）	
<使用教材・教具> PC、インターネット、歴史教科書など	
教室外（人・モノ・情報）との連繋	他教科の内容との連繋
日本と韓国の高校の歴史教科書、韓国人の歴史観、世界各国の歴史教科書（翻訳されたもの）、報道・ルポ番組、留学生、日本に住んでいる外国人	社会、歴史、倫理社会、世界史、地理、情報、国語、英語